

令和5年度

たきざわエコオフィス計画

活動報告書

令和6年6月

滝沢市市民環境部環境課

## 目次

1	たきざわエコオフィス計画について	1
	【たきざわエコオフィス計画とは】	1
	【たきざわエコオフィス計画の適用範囲】	1
	【二酸化炭素排出量の算定対象項目】	1
2	令和5年度活動実績	2
	(1) 電気使用量	2
	(2) 灯油使用量	3
	(3) A重油使用量	4
	(4) ガソリン使用度基準	5
	(5) 軽油使用量	6
	(6) ガス使用量	7
	(7) 一般廃棄物排出量	9
	(8) 総計	10
3	グリーン購入の推進について	11
	【グリーン購入とは】	11
	【グリーン購入適合商品の調達目標】	11
	【対象品目及び判断基準】	11
4	令和5年度グリーン調達実績	12
5	令和5年度グリーン調達対象品目一覧	15

## 1 たきざわエコオフィス計画について

### 【たきざわエコオフィス計画とは】

本計画は、市の事務事業に起因する温室効果ガス排出量を削減するとともに、事務事業に伴う環境に与える負荷を低減させることで、地球温暖化対策の推進を図ることを目的とし、平成25年から計画が行われています。

今年度から第3次計画として令和8年度までに二酸化炭素排出量を令和3年度を基準とし14.6%削減することを目標に設定しています。

### 【たきざわエコオフィス計画の適用範囲】

本計画は、市の全ての事務・事業を対象とし、本庁舎や分庁舎の他に市が所有している施設（学校・指定管理施設等）で発生した二酸化炭素排出量を集計します。

### 【二酸化炭素排出量の算定対象項目】

第3次計画から算定対象項目の見直しを図り、以下の項目について集計します。

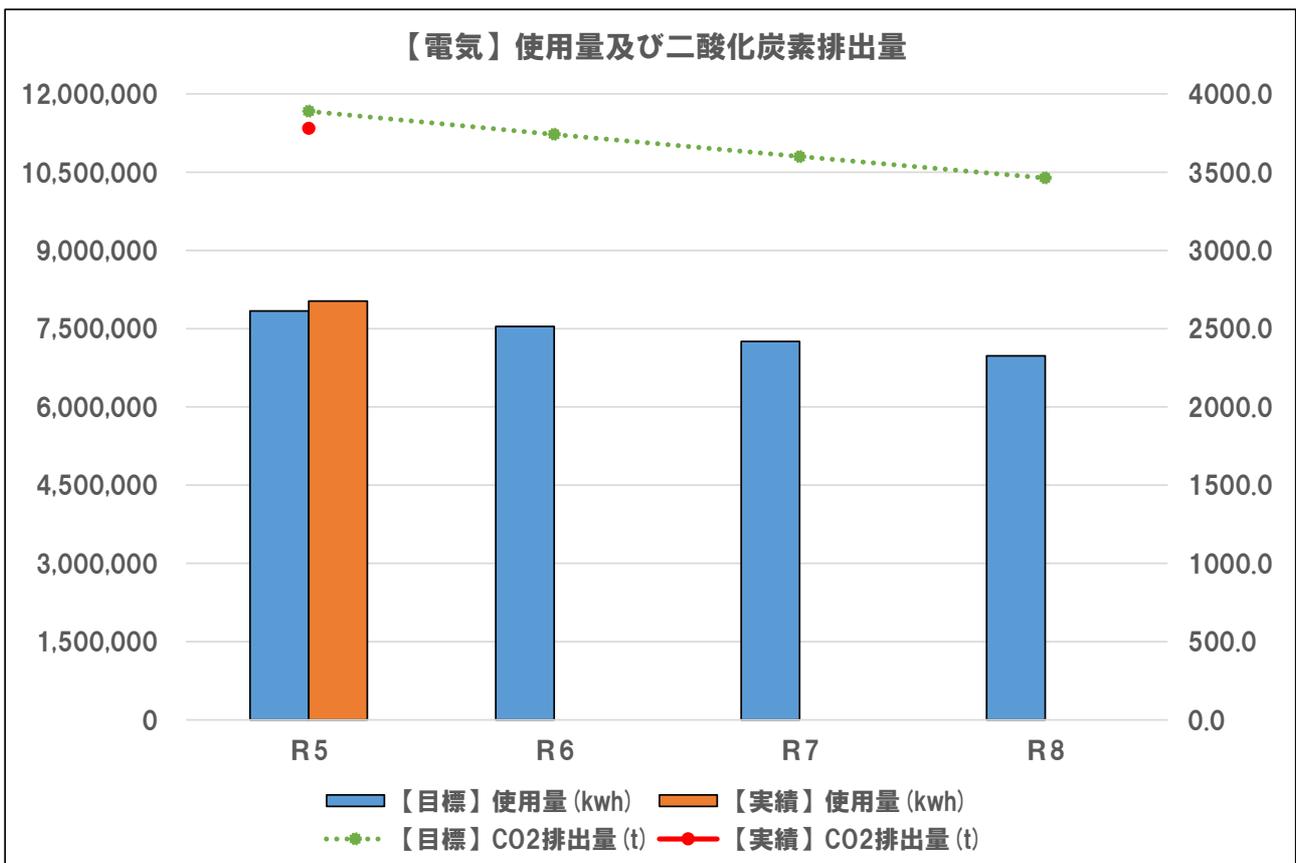
また、見直しを図ったことにより過去の実績値と比較ができないため令和5年度からの活動実績を報告することとします。

- (1) 電気使用量
- (2) 灯油使用量
- (3) A重油使用量
- (4) ガソリン使用量
- (5) 軽油使用量
- (6) ガス使用量
  - ア 液化石油ガス（LPG）
  - イ 都市ガス
- (7) 一般廃棄物排出量

## 2 令和5年度活動実績

(1) 電気使用量 ※令和3年度基準 使用量:8,471,883kwh CO2排出量:4,201.1t

年度	使用量(kwh)		CO2排出量(t)		
	目標値	実績	目標値	実績	対前年比
R 5	7,840,254	8,026,513	3,888.8	3,780.5	-
R 6	7,542,325		3,741.0		
R 7	7,255,716		3,598.8		
R 8	6,979,999		3,462.1		



### 【結果】

電気使用量については、8,026,513kwと目標達成できませんでしたが、CO2排出量を計算するにあたっての係数が変わったため排出量3,780.5tと達成することができました。

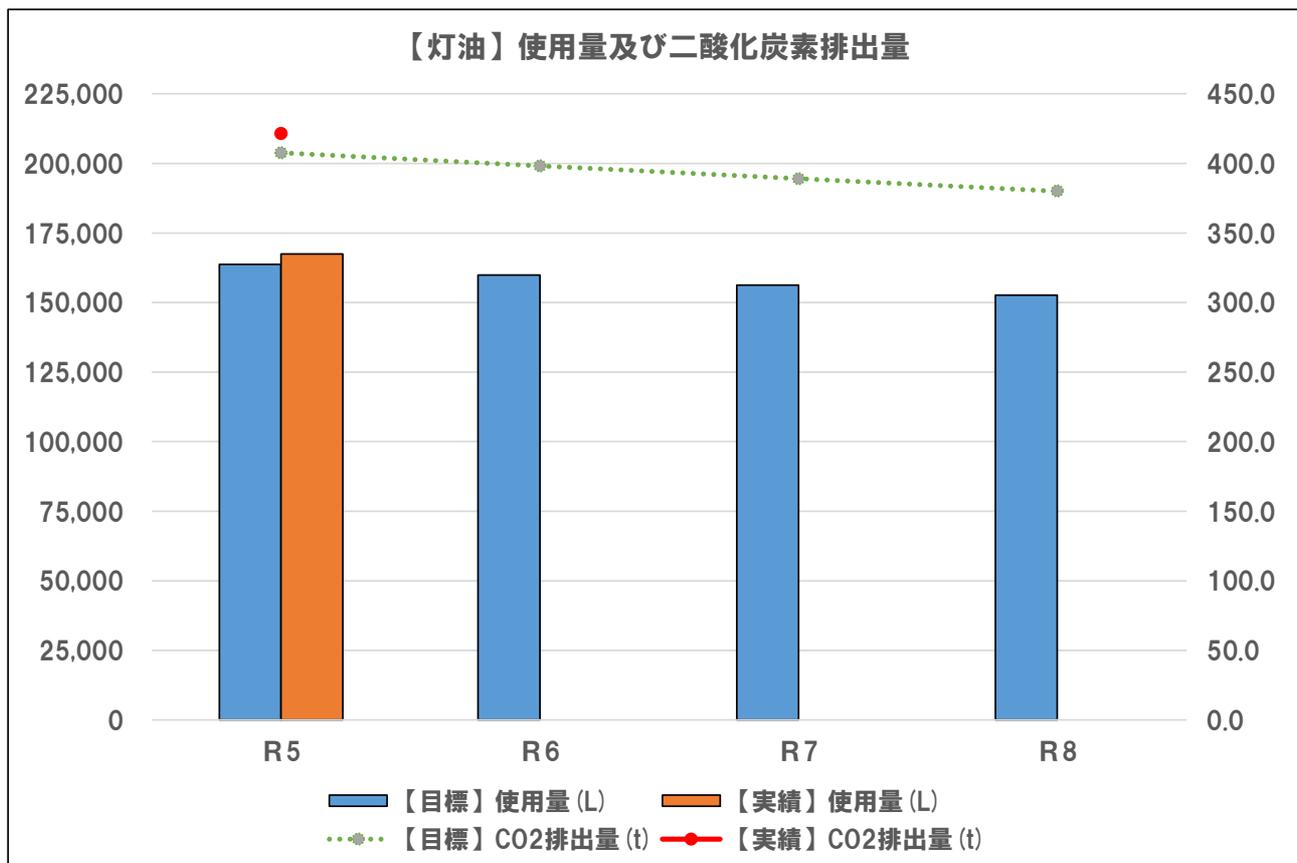
また、基準年度からは使用量、排出量どちらも削減することができました。

削減できた要因として、電気プランの見直しや、職員の取り組みとしてエアコンの設定温度の徹底等、各々でできるところから節電について意識をし、行動をした結果だと考えられます。

しかし、目標値である使用量と乖離しているため、今後は少しでも近づけるよう更なる取り組みが求められます。

(2) 灯油使用量 ※令和3年度基準 使用量:171,481L CO2排出量:427.0t

年度	区分	使用量(L)		CO2排出量(t)		
		目標値	実績	目標値	実績	対前年比
R 5		163,684	167,406	407.6	421.5	-
R 6		159,919		398.2		
R 7		156,241		389.0		
R 8		152,647		380.1		



【結果】

灯油使用量については、167,406Lと目標達成できず、CO2排出量も同様に421.5tと達成することができませんでした。

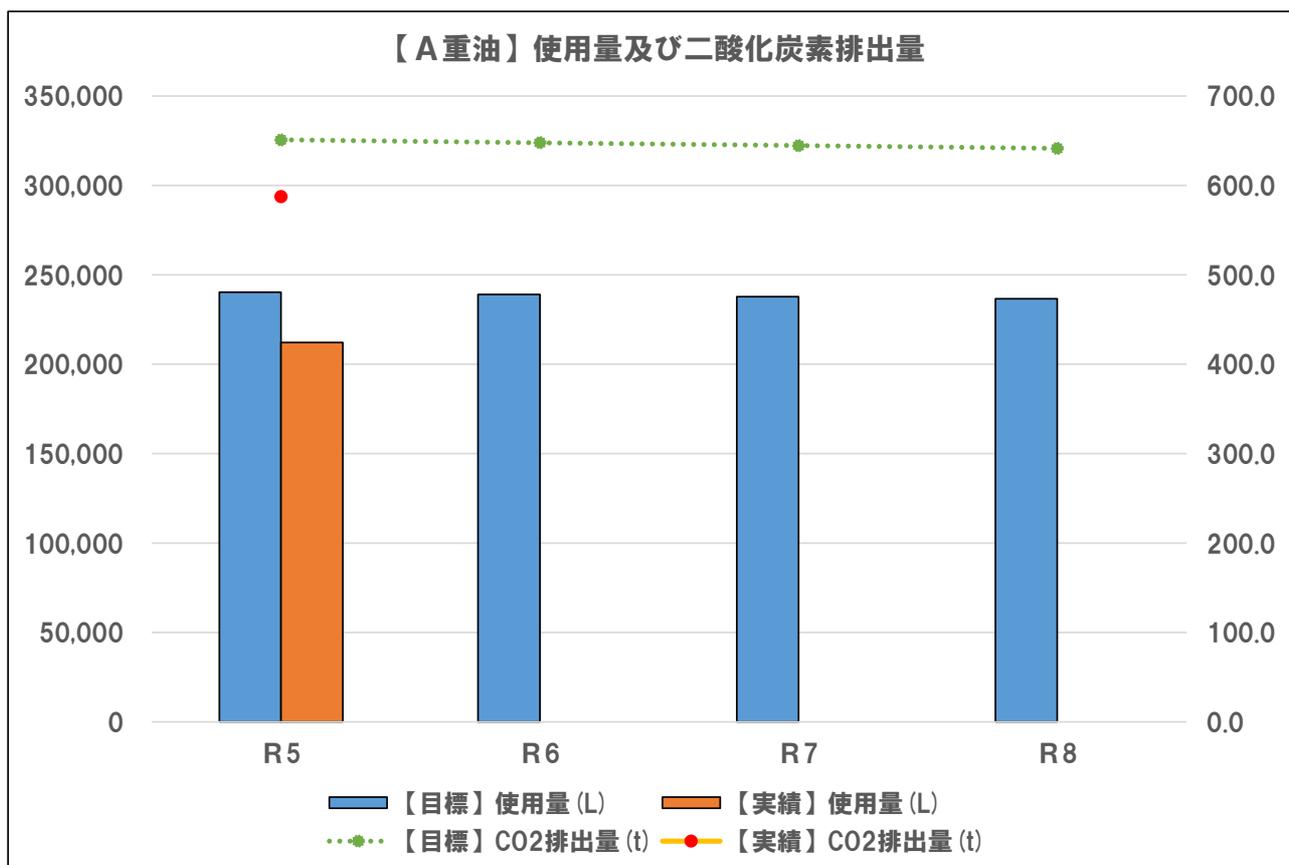
しかし、基準年度からは使用量、排出量どちらも削減することができました。

施設単位で見ると、全体的に微減となっておりますが、市内の体育施設で微増となっております。新型コロナウイルス感染症が落ち着き、施設利用が増えた結果増加したと推測されます。

冬場の気温にもよって使用量は左右されると思いますが、設定温度や使用時間の見直しをし、小さなところから取り組みが必要だと考えられます。

(3) A重油使用量 ※令和3年度基準 使用量:242,648L CO2排出量:657.6t

年度	使用量(L)		CO2排出量(t)		
	目標値	実績	目標値	実績	対前年比
R 5	240,228	212,205	651.0	587.6	-
R 6	239,026		647.8		
R 7	237,831		644.5		
R 8	236,642		641.3		



**【結果】**

A重油使用量については、212,205Lと目標達成することができ、CO2排出量も同様に587.6tと達成することができました。

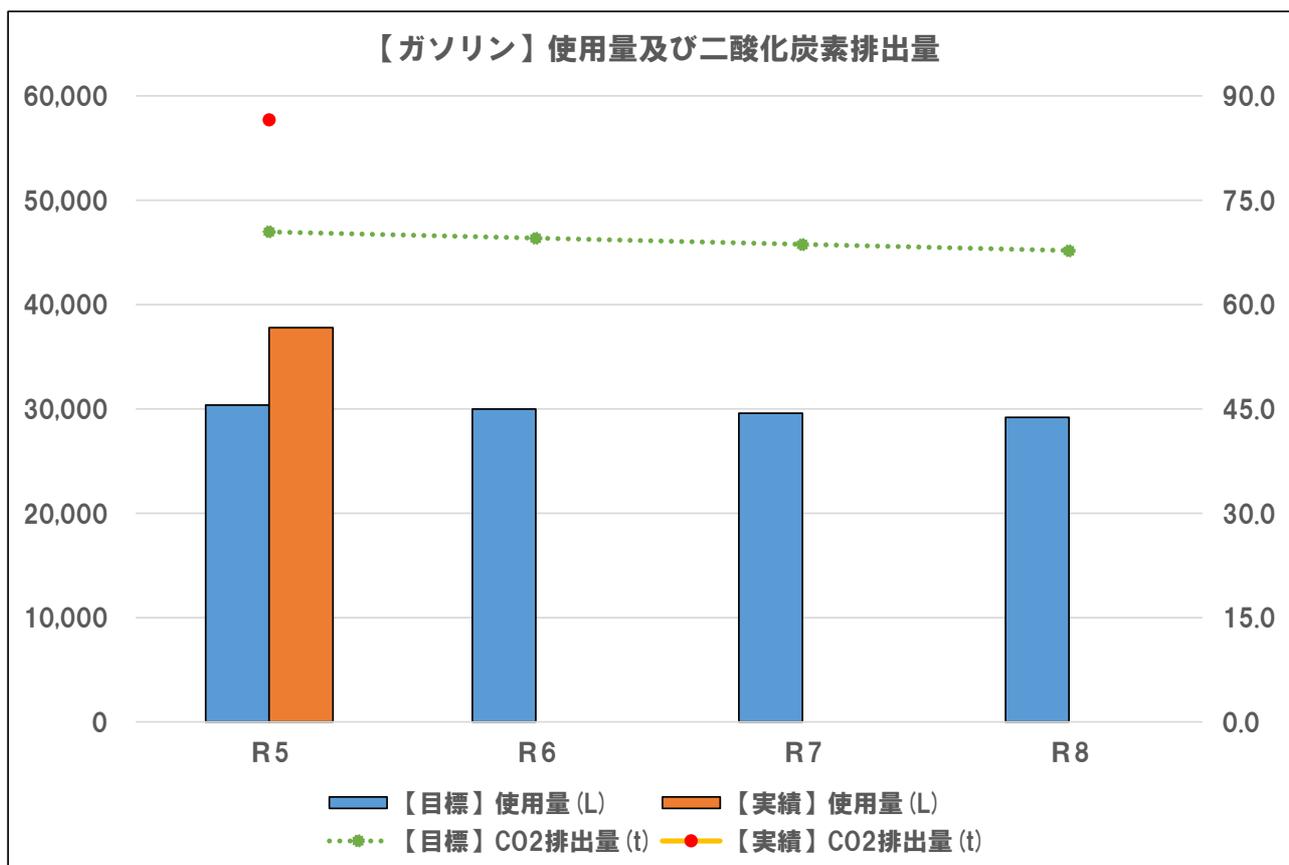
A重油はボイラーでの使用が主となり、使用施設が限られているため各施設取り組みが十分にできたと考えられます。

今年度は暖冬ということもあり、使用量が減っており、市内小中学校では約8,000Lの削減がされました。

季節という外的要因はありますが、今後もこの使用量を維持していくことで令和8年度目標も達成することが可能なため各施設継続して取り組みをしていきます。

(4) ガソリン使用量 ※令和3年度基準 使用量:31,182L CO2排出量:72.3t

年度	使用量(L)		CO2排出量(t)		
	目標値	実績	目標値	実績	対前年比
R5	30,376	37,796	70.5	86.6	-
R6	29,981		69.6		
R7	29,592		68.7		
R8	29,207		67.8		



【結果】

ガソリン使用量については、37,796Lと目標達成することができず、CO2排出量も同様に86.6tと達成することができませんでした。

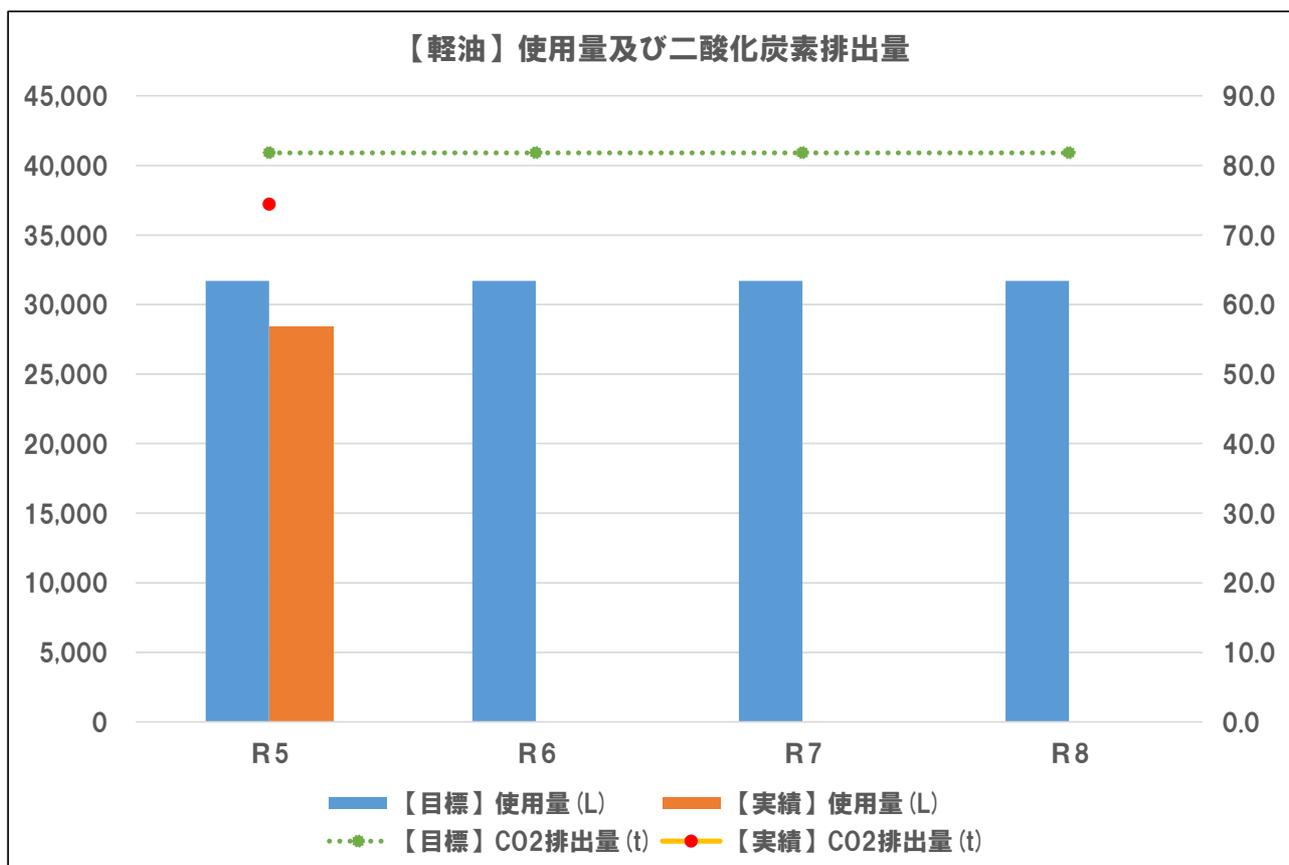
また、基準年度からも使用量、排出量どちらも大幅に増加しました。

要因としては、基準年度である令和3年度の使用量はコロナ禍ということもあり、業務で外出する機会が減っていた時期となります。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となり、コロナ禍以前の業務に戻ったことで公用車の使用が大きく増加しました。

現状、目標値とは大きな乖離があるため、電気自動車の使用や相乗り、公共交通機関を積極的に利用し、少しでも削減できるよう取り組みをしていきます。

(5) 軽油使用量 ※令和3年度基準 使用量:31,713L C02排出量:81.8t

年度	区分	使用量(L)		C02排出量(t)		
		目標値	実績	目標値	実績	対前年比
R 5		31,713	28,402	81.8	74.4	-
R 6		31,713		81.8		
R 7		31,713		81.8		
R 8		31,713		81.8		



**【結果】**

軽油使用量については、28,402Lと目標達成することができ、C02排出量も同様に74.4tと達成することができました。

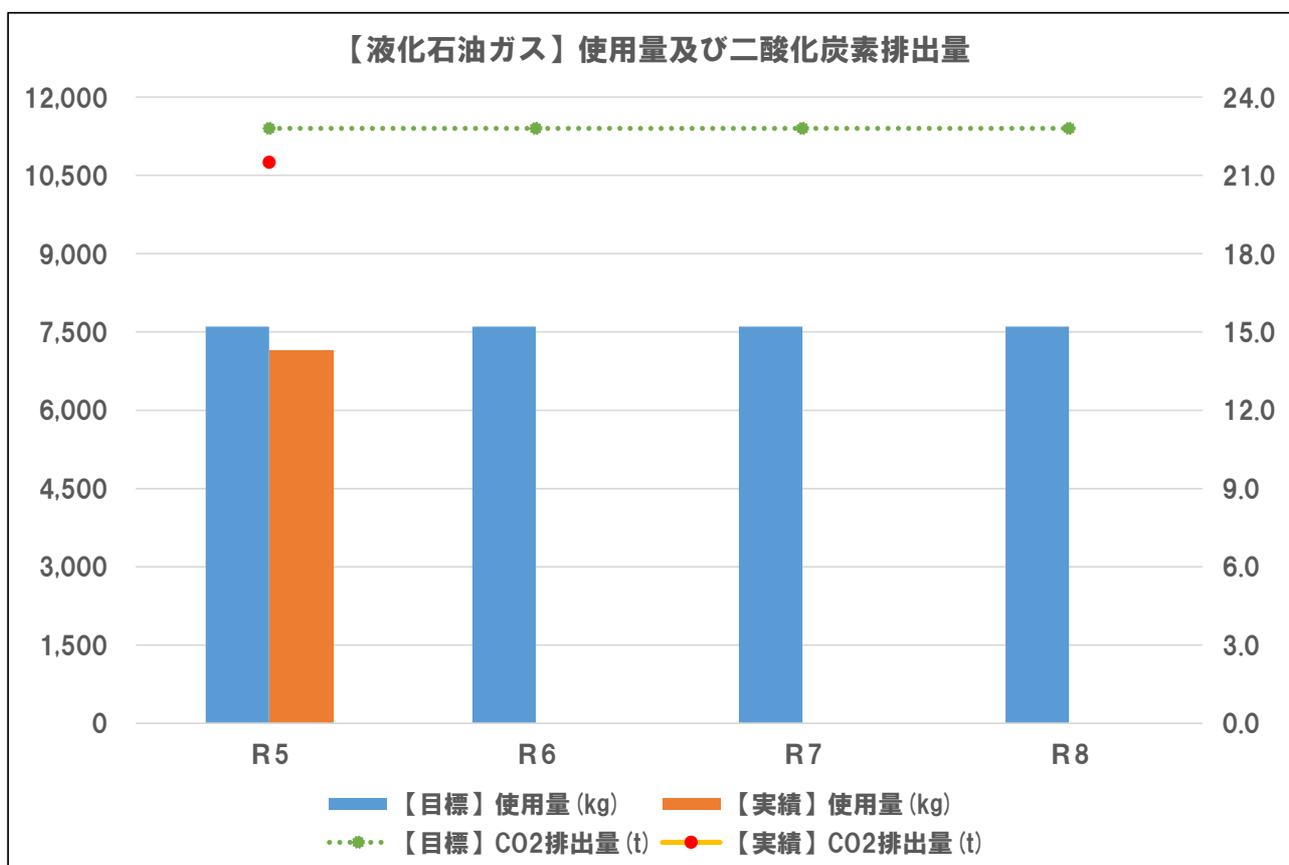
要因としては、公用車のほとんどがガソリン車であり、ガソリンほどコロナ禍前後の影響を受けなかったことと、降雪量も少なく除雪での使用量も抑えられたことが減少に繋がりました。

この外的要因によって使用量に変動が出る項目となるため、単年度での判断ではなく中長期のトータルで削減していく必要があると考えます。

(6) ガス使用量

ア 液化石油ガス ※令和3年度基準 使用量:7,603kg CO2排出量:22.8t

年度	区分	使用量(kg)		CO2排出量(t)		
		目標値	実績	目標値	実績	対前年比
R 5		7,603	7,155	22.8	21.5	-
R 6		7,603		22.8		
R 7		7,603		22.8		
R 8		7,603		22.8		



**【結果】**

液化石油ガス使用量については、7,155kgと目標達成することができ、CO2排出量も同様に21.5tと達成することができました。

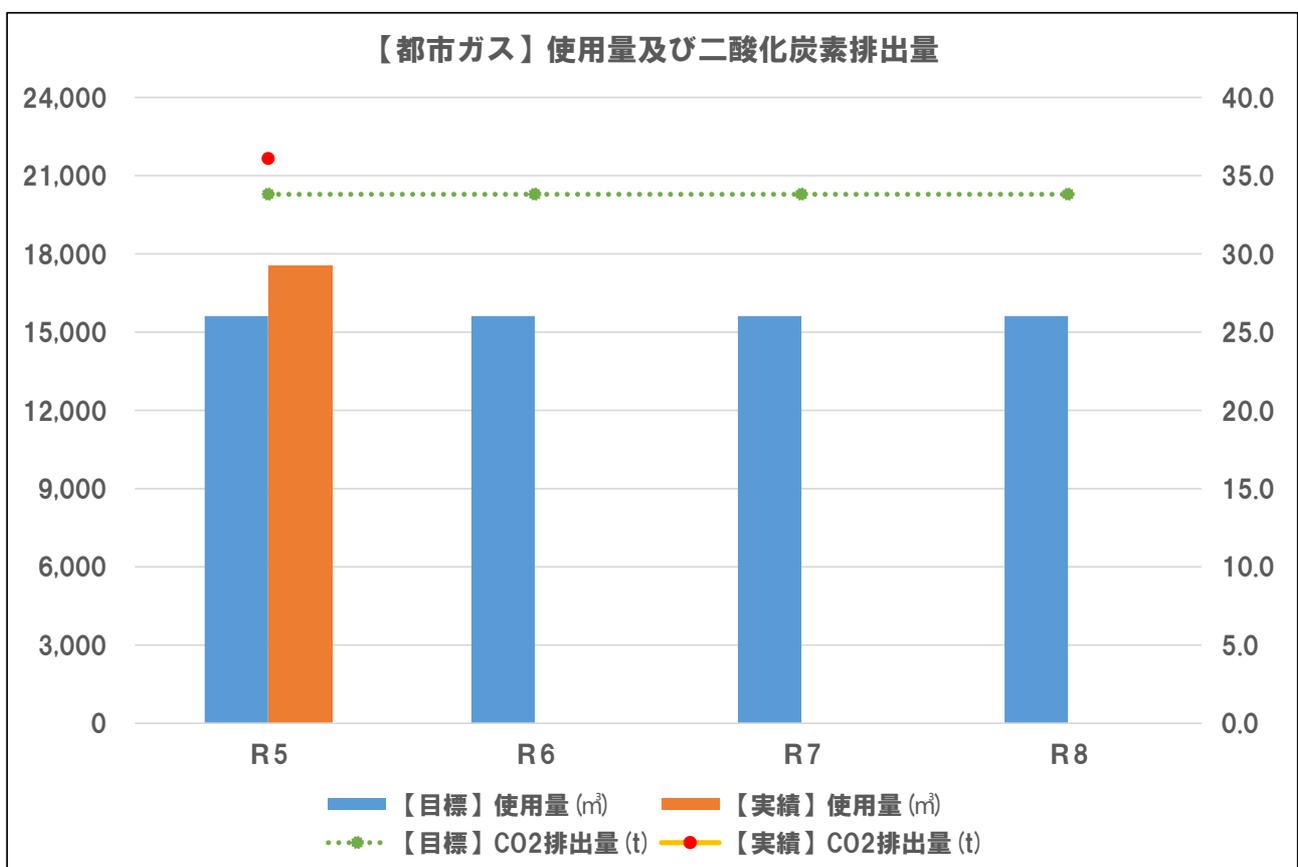
要因としては、全体使用量の半数が1つの施設で発生しており、今回その施設の使用量が削減できたことが挙げられます。

今後も目標達成できるように継続して取り組みをしていきます。

(6) ガス使用量

イ 都市ガス ※令和3年度基準 使用量:15,614 m<sup>3</sup> C02 排出量:33.8t

年度	区分	使用量 (m <sup>3</sup> )		C02排出量 (t)		
		目標値	実績	目標値	実績	対前年比
R 5		15,614	17,542	33.8	36.1	-
R 6		15,614		33.8		
R 7		15,614		33.8		
R 8		15,614		33.8		



【結果】

都市ガス使用量は 17,542 m<sup>3</sup>と目標達成することができず、C02 排出量も同様に 36.1tと達成することができませんでした。

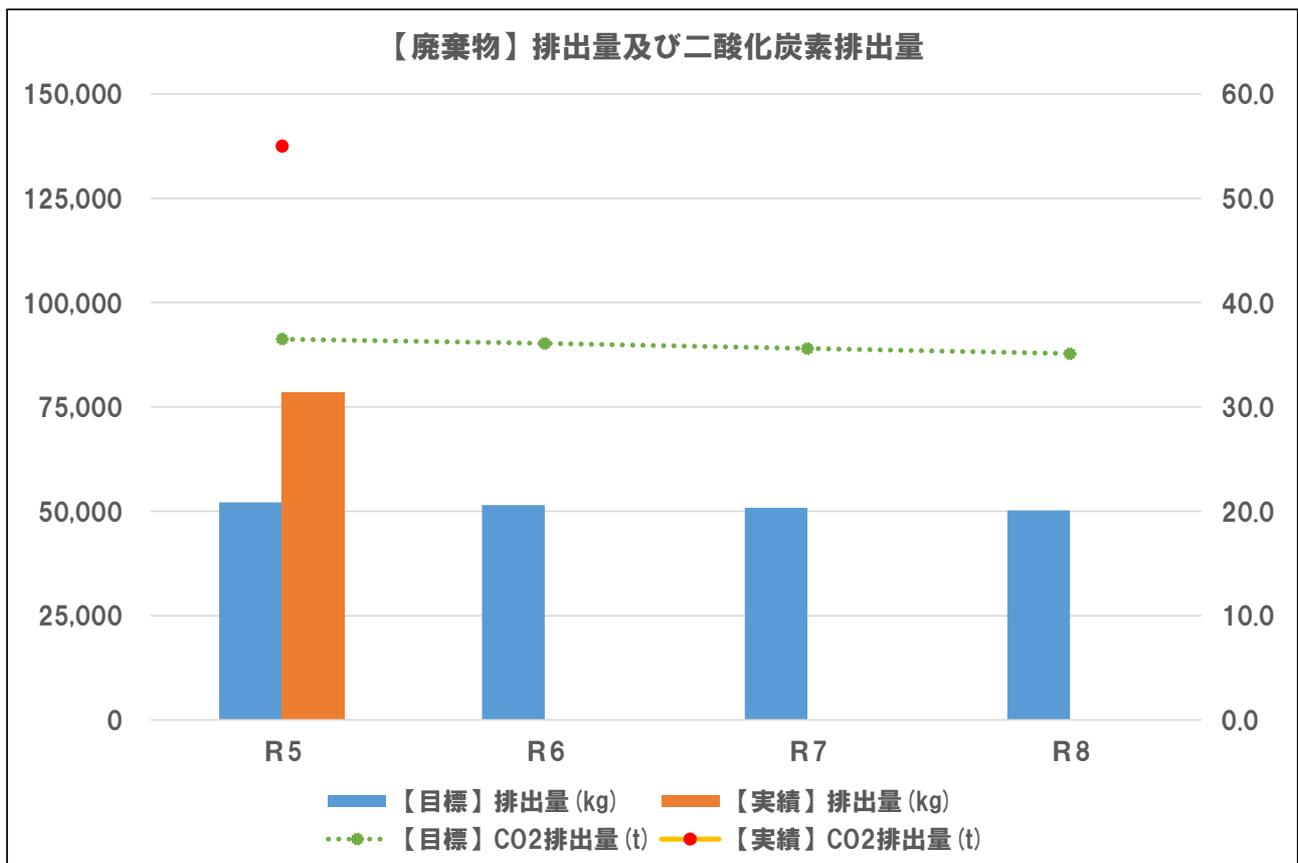
市内で都市ガスを使用している施設はビッグライフ滝沢のみとなり、該当施設の取り組みが達成、未達成に直結している状況となります。

要因としては、基準年度である令和3年度はコロナ禍ということもあり、施設利用の減少やイベントの開催件数も落ち込んでいた時期でもあるため、利用者数の増加が挙げられます。

今後は、今年度よりも使用量を削減できるよう、ムダ使い等がないか精査をし、取り組みを図っていきます。

(7) 一般廃棄物排出量 ※令和3年度基準 排出量:53,559kg CO2排出量:37.5t

年度	区分	使用量(kg)		CO2排出量(t)		
		目標値	実績	目標値	実績	対前年比
R 5		52,176	78,615	36.5	55.0	-
R 6		51,497		36.1		
R 7		50,828		35.6		
R 8		50,167		35.1		



**【結果】**

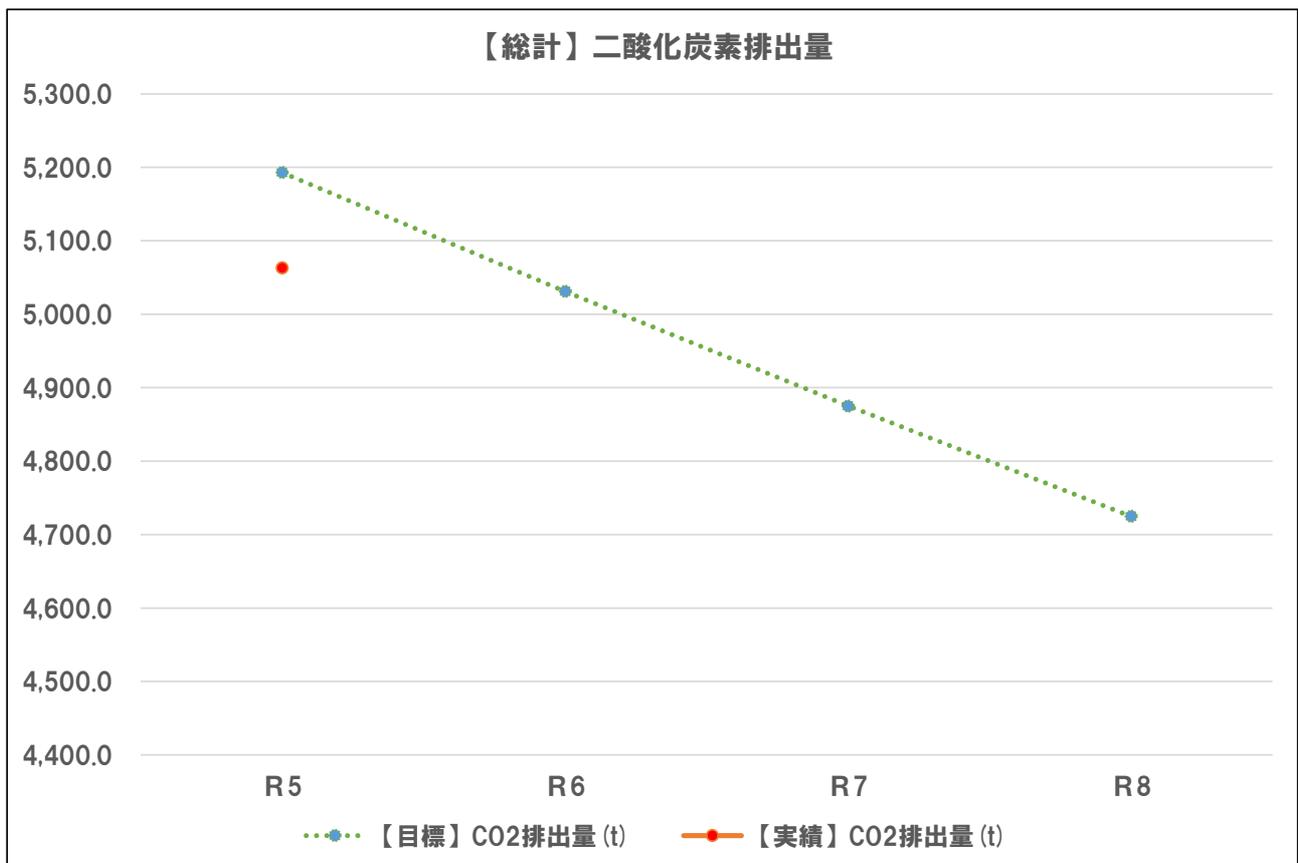
一般廃棄物排出量は78,615kgと目標達成することができず、CO2排出量も同様に55.0tと達成することができませんでした。

市で排出された廃棄物のうち、約8割が給食の廃棄となります。学級閉鎖等による廃棄量の増加もありますが、食べ残しをしないことが廃棄量を抑えるためには必要となります。

児童・生徒の皆様の取り組みひとつで十分目標達成できる項目となります。食べられる分だけ取るなど小さなところから取り組みをしていきます。

(8) 総計 ※令和3年度基準 C02排出量:5,534.9t

年度	区分	C02排出量(t)		
		目標値	実績	対前年比
R 5		5,192.8	5,063.2	-
R 6		5,031.0		
R 7		4,875.0		
R 8		4,724.8		



**【総評】**

令和5年度に市の事務・事業で発生したC02排出量は5,063.2tと目標を達成することができました。

項目別では、(1)電気、(3)A重油、(5)軽油、(6)A液化石油ガスが目標を達成し、(2)灯油、(4)ガソリン、(6)I都市ガス、(7)一般廃棄物が目標を達成できませんでした。

達成できなかった項目については、改善できるよう個々が当事者意識を持って取り組みをし、達成できた項目についてはこれを継続していくことが肝要です。

令和8年度目標は4,724.8tと今年度実績から338.4t削減する必要があります。これまで以上に「エコ」について考えた行動が求められます。

### 3 グリーン購入の推進について

#### 【グリーン購入とは】

持続可能な循環型社会を構築するために、購入の必要性を検討し、品質や価格ではなく環境や社会への影響を考え環境負荷ができるだけ小さく、社会面に配慮した製品やサービスを、環境負荷の低減や、社会的責任の遂行に努める事業所から優先的に購入することです。

#### 【グリーン購入適合商品の調達目標】

全ての分野で、基準に適合する物品等の調達率を100%と設定します。

※ただし、基準に適合する品目がない場合や、基準に適合する物品を特殊事情で調達できない場合を除く。

#### 【対象品目及び判断基準】

国が定める「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に基づき、品目を設定します。

また、当方針に変更があった場合は、適宜変更することとします。

#### 4 令和5年度グリーン調達実績

番号	分類	品目	調達総量	グリーン調達量	割合
1-1	紙類	コピー用紙、印刷用紙	20,378kg	20,328kg	100%
1-3	文具類	衛生用紙	31.2kg	31.2kg	100%
1-3	文具類	衛生用紙	7箱	6箱	86%
2-2	文具類	シャープペンシル替芯	22点	22点	100%
2-3	文具類	ボールペン	344点	332点	97%
2-4	文具類	マーキングペン	452点	418点	92%
2-5	文具類	鉛筆	7点	3点	43%
2-6	文具類	スタンプ台	6点	6点	100%
2-7	文具類	朱肉	6点	5点	83%
2-11	文具類	ゴム印	83点	59点	71%
2-12	文具類	回転ゴム印	5点	3点	60%
2-13	文具類	定規	3点	3点	100%
2-15	文具類	消しゴム	34点	26点	76%
2-16	文具類	ステープラー（汎用型）	4点	2点	50%
2-18	文具類	ステープラー針リムーバー	5点	4点	80%
2-19	文具類	連射式クリップ（本体）	2点	2点	100%
2-20	文具類	事務用修正具（テープ）	69点	69点	100%
2-22	文具類	クラフトテープ	17点	17点	100%
2-23	文具類	粘着テープ（布粘着）	233点	233点	100%
2-24	文具類	両面粘着紙テープ	23点	23点	100%
2-25	文具類	製本テープ	20点	19点	95%
2-29	文具類	はさみ	12点	6点	50%
2-31	文具類	マグネット（バー）	8点	8点	100%
2-33	文具類	パンチ（手動）	1点	0点	0%
2-38	文具類	OAクリーナー（液タイプ）	1点	1点	100%
2-39	文具類	ダストブロワー	9点	9点	100%
2-40	文具類	レターケース	5点	5点	100%
2-45	文具類	カッターナイフ	8点	6点	75%

番号	分類	品目	調達総量	グリーン調達量	割合
2-46	文具類	カッティングマット	2点	2点	100%
2-47	文具類	デスクマット	3点	3点	100%
2-48	文具類	OHP フィルム	600点	600点	100%
2-52	文具類	のり（液状・補充用含む）	64点	64点	100%
2-53	文具類	のり（澱粉・補充用含む）	1点	1点	100%
2-54	文具類	のり（固形・補充用含む）	149点	149点	100%
2-55	文具類	のり（テープ・補充用含む）	358点	358点	100%
2-56	文具類	ファイル	241点	238点	99%
2-58	文具類	ファイリング用品	1,419点	1,382点	97%
2-60	文具類	つづりひも	26点	22点	85%
2-61	文具類	カードケース	31点	21点	68%
2-62	文具類	事務用封筒（紙製）	7,413点	7,413点	100%
2-67	文具類	パンチラベル	7点	7点	100%
2-68	文具類	タックラベル	61点	59点	97%
2-69	文具類	インデックス	58点	58点	100%
2-70	文具類	付箋紙	1,313点	1,313点	100%
2-73	文具類	ホワイトボード用イレーザー	1点	1点	100%
2-74	文具類	額縁	253点	248点	98%
2-79	文具類	名札（衣類取付型・首下げ型）	4点	4点	100%
2-84	文具類	テープ印字機等用カセット	7点	2点	29%
2-85	文具類	テープ印字機登用テープ	13点	13点	100%
3-10	オフィス家具等	ホワイトボード	1点	1点	100%
4-6	画像機器等	トナーカートリッジ インクカートリッジ	121台	118台	98%
5-1	電子計算機等	電子計算機	18台	18台	100%
5-3	電子計算機等	ディスプレイ	17台	17台	100%
5-4	電子計算機等	記録用メディア	402枚	400枚	99%

番号	分類	品目	調達総量	グリーン調達量	割合
6-4	オフィス機器等	電子式卓上計算機	16 個	16 個	100%
6-5	オフィス機器等	一次電池又は小形充電式電池	20 個	20 個	100%
11-1	照明	LED 照明器具、LED を光源とした内照式表示灯	1 台	1 台	100%
11-2	照明	蛍光ランプ(大きさの区分 40 形直管蛍光ランプ)、電球形状のランプ	16 本	0 本	0%
12-1	自動車等	乗用車、小型バス、小型貨物車、バス等、トラック等、トラクタ	2 台	2 台	100%
13-1	消火器	消火器	64 本	64 本	100%
14-1	制服・作業服等	制服、作業服、帽子	93 着	93 着	100%
16-1	作業手袋	作業手袋	13 双	10 双	77%
20	ごみ袋等	プラスチック製ごみ袋	156 枚	155 枚	99%

達成割合  ……100%  ……51%～99%  ……50%以下

#### 【総評】

品目種類数 63 品目に対し、37 品目（58.7%）が調達割合 100% を達成しましたが目標とはほぼ遠い状況です。

その中で調達割合 50% 以下の品目は、グリーン購入適合商品が市場に多くあり改善が十分可能であると考えられます。照明器具は電気使用量にも繋がり、結果的に二酸化炭素排出量の削減も見込まれるため、商品選択時には留意していただきたいです。

今後の取り組みとして調達対象割合 50% 以下の品目をゼロにすることと 90% 台の品目を 100% にし、目標である全品目 100% を目指していきたいと考えます。

## 5 令和5年度グリーン調達対象品目一覧

番号	分類	品目	参考となる環境ラベル
1-1	紙類	コピー用紙、印刷用紙	エコマーク 
1-2	紙類	フォーム用紙、インクジェットカラープリンター用塗工紙	
1-3	紙類	衛生用紙	
2-1	文具類	シャープペンシル	
2-2	文具類	シャープペンシル替芯	
2-3	文具類	ボールペン	
2-4	文具類	マーキングペン	
2-5	文具類	鉛筆	
2-6	文具類	スタンプ台	
2-7	文具類	朱肉	
2-8	文具類	印章セット	
2-9	文具類	印箱	
2-10	文具類	公印	
2-11	文具類	ゴム印	
2-12	文具類	回転ゴム印	
2-13	文具類	定規	
2-14	文具類	トレー	
2-15	文具類	消しゴム	
2-16	文具類	ステープラー（汎用型）	
2-17	文具類	ステープラー（汎用型以外）	
2-18	文具類	ステープラー針リムーバー	
2-19	文具類	連射式クリップ（本体）	
2-20	文具類	事務用修正具（テープ）	
2-21	文具類	事務用修正具（液状）	
2-22	文具類	クラフトテープ	
2-23	文具類	粘着テープ（布粘着）	
2-24	文具類	両面粘着紙テープ	
2-25	文具類	製本テープ	
2-26	文具類	ブックスタンド	
2-27	文具類	ペンスタンド	
2-28	文具類	クリップケース	
2-29	文具類	はさみ	
2-30	文具類	マグネット（玉）	
2-31	文具類	マグネット（バー）	
2-32	文具類	テープカッター	
2-33	文具類	パンチ（手動）	
2-34	文具類	モルトケース	

番号	分類	品目	参考となる環境ラベル
2-35	文具類	紙めくりクリーム	エコマーク 
2-36	文具類	鉛筆削（手動）	
2-37	文具類	0A クリーナー（ウェットタイプ）	
2-38	文具類	0A クリーナー（液タイプ）	
2-39	文具類	ダストブローワー	
2-40	文具類	レターケース	
2-41	文具類	メディアケース	
2-42	文具類	マウスパッド	
2-43	文具類	0A フィルター（枠あり）	
2-44	文具類	丸刀式紙裁断機	
2-45	文具類	カッターナイフ	
2-46	文具類	カッティングマット	
2-47	文具類	デスクマット	
2-48	文具類	OHP フィルム	
2-49	文具類	絵筆	
2-50	文具類	絵の具	
2-51	文具類	墨汁	
2-52	文具類	のり（液状・補充用含む）	
2-53	文具類	のり（澱粉・補充用含む）	
2-54	文具類	のり（固形・補充用含む）	
2-55	文具類	のり（テープ・補充用含む）	
2-56	文具類	ファイル	
2-57	文具類	バインダー	
2-58	文具類	ファイリング用品	
2-59	文具類	アルバム（台紙を含む）	
2-60	文具類	つづりひも	
2-61	文具類	カードケース	
2-62	文具類	事務用封筒（紙製）	
2-63	文具類	窓付き封筒（紙製）	
2-64	文具類	けい紙	
2-65	文具類	起案用紙	
2-66	文具類	ノート	
2-67	文具類	パンチラベル	
2-68	文具類	タックラベル	
2-69	文具類	インデックス	
2-70	文具類	付箋紙	
2-71	文具類	付箋フィルム	

番号	分類	品目	参考となる環境ラベル
2-72	文具類	黒板拭き	<p>エコマーク</p> 
2-73	文具類	ホワイトボード用レーザー	
2-74	文具類	額縁	
2-75	文具類	ごみ箱	
2-76	文具類	リサイクルボックス	
2-77	文具類	缶・ボトルつぶし機（手動）	
2-78	文具類	名札（机上用）	
2-79	文具類	名札（衣類取付型・首下げ型）	
2-80	文具類	鍵かけ（フックを含む）	
2-81	文具類	チョーク	
2-82	文具類	グラウンド用白線	
2-83	文具類	梱包用バンド	
2-84	文具類	テープ印字機等用カセット	
2-85	文具類	テープ印字機等用テープ	
3-1	オフィス家具等	いす	
3-2	オフィス家具等	机	
3-3	オフィス家具等	棚	
3-4	オフィス家具等	収納用什器（棚以外）	
3-5	オフィス家具等	ローパーティション	
3-6	オフィス家具等	コートハンガー	
3-7	オフィス家具等	傘立て	
3-8	オフィス家具等	掲示板	
3-9	オフィス家具等	黒板	
3-10	オフィス家具等	ホワイトボード	
4-1	画像機器等	コピー機、複合機、拡張性のあるデジタルコピー機	<p>エコマーク</p>  <p>エネスタ</p> 
4-2	画像機器等	プリンタ、プリンタ複合機	
4-3	画像機器等	ファクシミリ	
4-4	画像機器等	スキャナ	
4-5	画像機器等	プロジェクタ	
4-6	画像機器等	トナーカートリッジ インクカートリッジ	
5-1	電子計算機等	電子計算機	<p>省エネラベリング</p> 
5-2	電子計算機等	磁気ディスク装置	
5-3	電子計算機等	ディスプレイ	
5-4	電子計算機等	記録用メディア	
6-1	オフィス機器等	シュレッダー	

番号	分類	品目	参考となる環境ラベル
6-2	オフィス機器等	デジタル印刷機	JIS 
6-3	オフィス機器等	掛時計	
6-4	オフィス機器等	電子式卓上計算機	
6-5	オフィス機器等	一次電池又は小形充電式電池	
7-1	移動電話等	携帯電話、PHS、スマートフォン	モバイル・リサイクル ネットワーク 
8-1	家電製品	電気冷蔵庫、電気冷凍庫 電気冷凍冷蔵庫	省エネラベリング 
8-2	家電製品	テレビジョン受信機	
8-3	家電製品	電気便座	
8-4	家電製品	電子レンジ	
9-1	エアコンディショナー等	エアコンディショナー	省エネラベリング 
9-2	エアコンディショナー等	ガスヒートポンプ式冷暖房機	
9-3	エアコンディショナー等	ストーブ	
10-1	温水器等	ヒートポンプ式電気給湯器	JIS  エコマーク 
10-2	温水器等	ガス温水機器	
10-3	温水器等	石油温水機器	
10-4	温水器等	ガス調理機器	
11-1	照明	LED照明器具、LEDを光源とした 内照式表示灯	
11-2	照明	蛍光ランプ（大きさの区分40形 直管蛍光ランプ）、電球形状のラ ンプ	
12-1	自動車等	乗用車、小型バス、小型貨物車、 バス等、トラック等、トラクタ	自動車燃費性能評価・ 公表制度  低排出ガス車認定制度 
12-2	自動車等	乗用車用タイヤ	低燃費タイヤ統一マー ク 

番号	分類	品目	参考となる環境ラベル
12-3	自動車等	2サイクルエンジン油	エコマーク 
13-1	消火器	消火器	
14-1	制服・作業服等	制服、作業着、帽子	エコマーク  エコ・ユニフォームマ ーク  PET ボトルリサイクル 推奨マーク 
15-1	インテリア・寝装寝具	カーテン、布製ブラインド 金属製ブラインド	エコマーク 
15-2	インテリア・寝装寝具	タフテッドカーペット タイルカーペット 織じゅうたん ニードルパンチカーペット	PET ボトルリサイクル 推奨マーク 
15-3	インテリア・寝装寝具	毛布、ふとん	PETボトル 再利用品 フレイムワーク 
15-4	インテリア・寝装寝具	ベッドフレーム、マットレス	衛生マットレス 
16-1	作業手袋	作業手袋	エコマーク 

番号	分類	品目	参考となる環境ラベル
17-1	その他繊維製品	集会用テント、ブルーシート	<p>エコマーク</p>  <p>PET ボトルリサイクル 推奨マーク</p>  <p>PETボトル 再利用品</p>
17-2	その他繊維製品	防球ネット	
17-3	その他繊維製品	旗、のぼり、幕	
17-4	その他繊維製品	モップ	
19-1	災害備蓄用品	災害備蓄用飲料水	<p>エコマーク</p>  <p>PET ボトルリサイクル 推奨マーク</p>  <p>PETボトル 再利用品</p>
19-2	災害備蓄用品	アルファ化米、保存パン、乾パン レトルト食品等、栄養調整食品 フリーズドライ食品	
19-3	災害備蓄用品	非常用携帯燃料、携帯発電機 非常用携帯電源、備蓄用（毛布、 作業手袋、テント、ブルーシー ト、一次電池）	
20	ごみ袋等	プラスチック製ごみ袋	<p>エコマーク</p>  <p>バイオマスプラスチッ クマーク</p>  <p>バイオマスマーク</p>  <p>バイオマス No.000000</p>

ここで止めないと地球がこわれます  
If you don't stop here, the earth will break

